

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和五年八月度 入賞句一覧

投句数 五百四十三句

特選

名和 よちゑ 選

雨粒の一つ一つに見る大暑

加茂郡川辺町 西垣 陽翔(中三)

大暑は七月二十三日頃で、暑さが絶頂の時期です。そんな時に急に雨が降り出してきました。いきなり大きな雨粒です。軒下で雨やどりをしたのでしようか。まだゆつくり歩いている人、駅方面に急ぐ人などの様子が想像できます。雨粒を手に受けてみると生温かいです。降り始めの一粒一粒を目で確認できた驚きがよく表現できています。

水筒に入れるお茶のすずしい音

加茂郡川辺町 白村 友莉(中二)

暑い夏の一日のなかで、思いがけず涼しさを感じることがあります。吹き過ぎていく風、流れる水、木陰や雨に。わずかなものに日本人は涼しさを見出します。登校の時や部活の時、暑さ対策には水筒のお茶が一番です。水筒のお茶に氷を入れるとカラncカラncと音がして増々お茶をおいしく感じるができます。

風鈴が親子ゲンカを黙らせる

加茂郡川辺町 堀井 咲来(中三)

風鈴は金属、ガラス、陶器、貝殻などで作られています。風を受けてチリンチリンと鳴り、とても涼しげです。互いに譲ることなく自分を主張して、ケンカ腰になってしまいました。風鈴が鳴って少しの間沈黙が生まれました。親子ゲンカの内容もあまり深刻ではなさそうです。何でも親子で話し合える、本当は仲の良い様子がうかがえます。

秀逸

ソーダ水空にかざして写真撮る

加茂郡川辺町 大杉 ひより(中二)

浴衣着る少し気にする立ち姿

加茂郡川辺町 三品 明日香(中三)

夏の日に自転車のサドル暑すぎる

加茂郡川辺町 武市 光生(中三)

夏休み誘惑に負け甘やかす

加茂郡川辺町 小田垣 理子(中三)

体育館ぼつんと落ちてるカナブンが

加茂郡川辺町 加藤 颯真(中三)

夕立に負けてたまるか帰宅道

加茂郡川辺町 山口 翔大(中三)

覗き込むゆれたプールにうかぶ顔

加茂郡川辺町 田原 真衣(中三)

五月雨の音が私を包み込む

加茂郡川辺町 渡辺 かずは(中三)

しゃわーみたいみずがでそうだひまわりから

大垣市 おおもり ひな(小一)

もくもくと大きな空でボクシング

岐阜市 松永 和樹(十歳)

入選

夏の川川もゆらゆらもやい船

大垣市

小見山 華一（小六）

白さが田んぼの中であくれんぼ

大垣市

櫻井 陽菜（小六）

芭蕉の葉ぐるぐるまきが立派な葉

大垣市

生月 希音（小六）

夏の空飛行機雲の一本線

加茂郡川辺町

山田 心冴（中二）

七夕に必ず見えぬ天の川

加茂郡川辺町

山田 朋香（中二）

夏の雨自分をうつす窓ガラス

加茂郡川辺町

坂崎 優斗（中二）

夏休み浴衣やぞうりで気合いいれ

加茂郡川辺町

鈴木 瑛心（中二）

遠い地の祖父母に送る暑中見舞い

加茂郡川辺町

伊藤 桃佳（中三）

青い空君と二人でかき氷

加茂郡川辺町

山岡 恒心（中三）

すぐおわるながくてみじかい夏休み

加茂郡川辺町

奥村 英樹（中三）

夏休み遊ぶたわけがどこにいる

加茂郡川辺町

田口 憲之介（中三）

体育終わり団扇代わりの下敷かな

加茂郡川辺町

宮脇 紗希（中三）

しゃーしんにさされたみたいおくらのは

大垣市

たかはし みあ（小二）

カブトムシケースのなかでかわいそう

大垣市

栗田 大馳（小二）

向日葵に追いつくまではもう少し

大垣市

栗田 眞帆（小六）

ふるさとにまたひまわりが咲きほこる

大垣市

高橋 たまき（小六）

ひまわりとぼくの身長くらべるな

大垣市

河合 煌太（小六）

額ぬれ夜に目が覚める熱帯夜

大垣市

伊藤 陽咲（小六）

エアコンがすすしくないよ故障かな

大垣市

笹田 琉来（小六）

川の石返してびつくり亀の子だ

大垣市

市川 椋一（小四）

小中学生の部

選者吟

夏休み鉄棒を越す草の丈

よちゑ

